

# 《蝶形骨誘導を用いた長時間ビデオ脳波検査の波形解析》 研究協力をお願い

## 1. 研究の対象

沖縄赤十字病院で長時間ビデオ脳波検査をこれまで受けた全症例。

## 2. 研究の意義、目的

難治性てんかんの脳波特徴の分析は、重症度や症状の評価、発作焦点の同定において重要であるが、現在は十分に確立された手法はない。

今研究ではHFOやCAPパターンの解析を通して難治てんかん患者の脳波特性を分析し、難治てんかん患者の脳波特性を解明し、重症度評価や焦点同定につなげることを目標とする。また、蝶形骨誘導からデータをコントロールとして用いることで、頭皮上電極からのHFOの測定の正確性を明らかにする。

## 3. 研究に用いる臨床情報

当施設で既に保有している長時間ビデオ脳波検査を解析します。

## 4. 個人情報の取り扱い

沖縄赤十字病院で保存されている脳波データを解析可能な形で持ち出す時点でデータと患者の個人特定につながる情報は排除しプライバシーを保護する。

## 5. お問い合わせ先

対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。この研究への参加（情報提供）を希望されない場合は、情報の使用について停止することができます。参加を希望されない場合、あるいは、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。なお、本研究への参加を拒否されても不利益は一切生じません。

### 【研究責任者及び代表者】

沖縄赤十字病院 脳神経外科 饒波 正博

TEL : 098-853-3134

